

12月議会楠田大蔵市長 冒頭あいさつ



令和2年第4回太宰府市議会定例会初日の令和2年12月2日に、楠田市長が議会開会に当たりあいさつを述べました。

令和2年も残すところひと月を切りました。令和ブームに沸いた昨年とは打って変わり、今年は何と申しましても新型コロナウイルスの対応に追われた一年でありました。

議員各位のご理解ご協力をいただきましたおかげで、3月議会以降毎月のように議会が開催され、総額15億円を超える本市独自の対策をタイムリーかつ効果的に行うことができました。

しかも、国や県からの交付金に加え、身を切る改革や昨年本年のふるさと納税増分など約3億円を独自捻出する事で、基金を取り崩すことなくここまで参ることができております。

現在、いわゆる第三波が全国的に拡大しており、本市においても断続的に陽性者が判明し、クラスターの発生もありました。改めて緊張感を持って対応に万全を期す必要があります。

特にこれからの年末年始は名所旧跡を擁する本市において最も多くの方々を訪れる時期であり、市民の皆さまのためにもこれまで以上に感染拡大

大防止に力を注がなければなりません。

本議会における新たな提案にご理解賜りますと共に、引き続きマスクの着用や手洗い、3密の回避などの「新しい生活様式」の実践にご協力いただきますようお願い申し上げます。

さて、9月議会以降も、民間活力を生かしながらコロナ禍を乗り越え未来のV字回復に繋げるべく、西日本鉄道株式会社様や九州電力株式会社様との包括協定を締結いたしました。

これまでも協力を重ねてきた両社であります。連携を更に緊密強化し、コロナ対策はもろろん観光資源や産品の開発などを通じ共に未曾有の脅威に立ち向かってまいります。

また、今年中止を余儀なくされた全国史跡整備市町村協議会総会太宰府大会ですが、例外的に来年改めて本市にて開催するという決定を取り付けることに成功いたしました。

福岡県では実に半世紀ぶりの開催であり、来年は本市の

誇る特別史跡大宰府跡、水城跡が史跡指定100年を迎える節目の年でもありますので無事開催出来るよう準備を重ねてまいります。

また、昨年ふるさと納税が約4倍、2億円余り増加するなど着実に歳入が増加し、機動的にコロナ対応を進めて来たことなどが認められるうれしいニュースも飛び込んでまいりました。

日経BP社のシティブランディング住みよい街2020で全国20位に、ブランド総合研究所の全国市区町村魅力度調査で42位に本市がそれぞれランキングされたのであります。

ブランド総研の魅力度調査では、令和発祥の都として躍進した昨年に続き2年連続でトップ50に入り、今年のトップ50入りは県内で福岡市と本市のみという大変光栄なものでした。

また、日経BP住みよい街ランキングは、それまでのランク外から一昨年299位、昨年95位、今年20位と着実にステップアップしてきたといえます。

詳細を分析しますと、自治体の運営部門における多様な地域参加の機会が1位、行政からの情報発信の充実も6位といずれも最上位を記録しております。

これまで力を入れてまいりました取り組みが特に認められ、このような評価をいただくこととなりましたことは大きな励みであり、今後さらなる高みを目指し努力を重ねてまいります。

コロナ禍は今なお続き、まだまだ課題もございりますが、今年の締めくくりをしつかりと行い、史跡指定100年の節目を迎えます来年をさらに良い年にすべく頑張っております。

観光都市太宰府
としての
年末年始コロナ対策
(Beautiful Harmonyコロナ対策・
交通対策)